

令和7年度 事務事業マネジメントシート

1 事業概要			段階： 令和6年度実施事業に係る事務事業評価				5870	認知症高齢者家族支援事業【介護保険】					保健福祉部	地域包括ケア推進課
政策体系			中事業番号	1339									所属コード	213200
			SDGs	広域事業	総合戦略	セーフ	2025	2030	2040	2050	D X 推進	手段	意図（目的）	
大綱（取組）	Ⅳ 「誰もが地域で輝く未来」		1.3 3.8 10.2	○	5-2	○	○	○			○	外出したまま行方不明となる可能性がある認知症高齢者の家族等に位置情報探索機器を貸し出し、電話やインターネットを用いた位置情報提供を可能にする。また、SOS見守りネットワーク事業及びQRコード配付の充実化を図り、位置情報提供の際に行方不明者が発生した場合の速やかな発見を図ること、行方不明者が発生した際の迅速な発見につなげる。	認知症高齢者が行方不明となった際に、早期にその居場所を特定し高齢者の安全を確保するとともに、家族の心身における介護負担の減少を図る。	
施策	3 市民が互いに支えあい、一人ぼっちにならないまち													

事業開始時周辺環境（背景）		現状周辺環境		今後周辺環境（予測）		住民意向分析	
外出したまま行方不明となる可能性がある認知症高齢者を介護している家族等が増加し、捜索等が必要となった場合における家族等の負担が大きかったため、その負担を軽減するための施策が求められた。		認知症高齢者対策として、ハード面ではグループホームの整備等が進められたが、当該事業の需要も増加傾向にあり、実情に応じた適切な支援を行っている。		高齢化の進展に伴い、外出したまま行方不明となる可能性がある認知症高齢者の増加が見込まれることから、今後も本事業の需要は高まるものと考えられる。		在宅で、外出したまま行方不明となる可能性がある認知症高齢者の介護を行う家族の負担軽減支援はますます需要が高まっており、この事業によって家族の負担軽減が図られている。	

2 事業進捗等（指標等推移）

指標名	指標名	単位	2022年度（令和4年度）		2023年度（令和5年度）		2024年度（令和6年度）		2025年度（令和7年度）		2026年度（令和8年度）		2027年度	2028年度	中間指標	最終指標
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	計画	2021年度	2025年度
対象指標	市内の高齢者数	人		87,657		88,324		88,742								
活動指標①	年度末利用登録者数(位置情報探索機器貸与事業)	人	40	71	42	69	44	41	46		48		50	52		
活動指標②	年度末利用登録者数(認知症高齢者SOS見守りネットワーク事業)	人	425	445	450	474	475	480	500		525		550	575		
活動指標③	年度末利用登録者数(身元確認QRコード活用事業)	人	300	298	325	320	350	330	375		400		425	450		
成果指標①	～R2 位置情報提供回数(認知症高齢者位置情報探索機器貸与事業)	回														
成果指標②	行方不明高齢者の発見率(位置情報探索機器貸与、SOS見守りネットワーク、身元確認QRコード配付)	%	100	93	100	100	100	93	100	100	100		100	100	100	100
成果指標③																
単位コスト（総コストから算出）	年度末利用登録者1人あたりのコスト	千円		11.8		11.1		8.9	11.4		10.8		10.3	9.8		
単位コスト（所要一般財源から算出）	年度末利用登録者1人あたりのコスト	千円		1.0		1.3		1.0	1.4		1.3		1.3	1.2		
事業費		千円		3,737		4,718		3,881	4,474		5,620		5,620	5,620		
人件費		千円		5,905		4,888		3,683	4,888		4,888		4,888	4,888		
蔵出計（総事業費）		千円		9,642		9,606		7,564	9,362		10,508		10,508	10,508		
国・県支出金		千円		2,158		2,725		2,241	2,691		3,245		3,245	3,245		
市債		千円														
受益者負担金（使用料、負担金等）		千円														
その他		千円		6,625		5,796		4,430	5,749		5,971		5,971	5,971		
一般財源等		千円		859		1,085		893	1,029		1,292		1,292	1,292		
蔵入計		千円		9,642		9,606		7,564	9,362		10,508		10,508	10,508		
		実計区分	評価結果	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続						

活動指標分析結果	成果指標分析結果	総事業費（事業費・人件費）分析結果
認知症高齢者位置情報探索機器貸与事業は、機器の入れ替えを行ったことで利用者数が減少したが、警察・包括・居宅・市で連携し、行方不明のおそれのある高齢者の登録を進めていることなどから、認知症高齢者SOS見守りネットワーク事業及び身元確認QRコード活用事業は増加している。	SOS見守りネットワーク配信による行方不明高齢者の発見率は93%であり、本事業における利用登録者の安全確保と介護者の負担軽減に資するという目的は達せられている。	【事業費】 認知症高齢者位置情報探索機器貸与事業利用者数の減少により、手数料、使用料及び賃借料が減少した。 【人件費】 認知症高齢者位置情報探索機器貸与事業、認知症高齢者SOS見守りネットワーク事業及び身元確認QRコード活用事業同時申請を促す等の事務効率化が人件費の減少につながった。

3 一次評価（部局内評価）

(1) 事業手法評価		(2) 事業継続性評価	
1 規模・方法の妥当性	4	代替事業（有）	
2 公平性	3	ニーズ（小）	ニーズ（大）
3 効率性	4		
4 活動指標（活動達成度）	4		
5 成果指標（目的達成度）	4		

1 規模・方法の妥当性

2 公平性

3 効率性

4 活動指標（活動達成度）

5 成果指標（目的達成度）

継続	一次評価コメント
継続	高齢者人口の増加とそれに伴う認知症高齢者の増加により、本事業が行う介護者支援及びその負担軽減ニーズも増加することが見込まれる。 これまで、認知症高齢者SOS見守りネットワーク事業におけるLINEアプリ活用（令和元年度～）や、認知症高齢者位置情報探索機器の小型化（令和2年度～）など、利用者のニーズに基づき見直しを図ってきた。 今後も利用者のニーズに沿った検討を行い、介護者の負担軽減を図りながら継続して実施する。

5レシ	カウンターレス	キャッシュレス	ペーパーレス	ファイルレス	ムーブレス（会議レス）
					○

気候変動対応	D X (デジタル市役所)	部局間協奏
	○	

4 二次評価

(1) 事業手法評価		(2) 事業継続性評価	
1 規模・方法の妥当性	4	代替事業（有）	
2 公平性	3	ニーズ（小）	ニーズ（大）
3 効率性	4		
4 活動指標（活動達成度）	4		
5 成果指標（目的達成度）	4		

1 規模・方法の妥当性

2 公平性

3 効率性

4 活動指標（活動達成度）

5 成果指標（目的達成度）

継続	二次評価コメント
継続	令和6年度は、活動指標である位置情報探索機器貸与事業の利用登録者数は概ね計画値に達しており、かつ行方不明者の発見率は93%となっている。各種登録者数は増加傾向にあり、機器の入れ替えに伴い利用者を精査したことにより一時的に減少した活動指標もあったが、高齢者の増加とともに今後もニーズは増えていくことが予想される。 各種登録の申請に際しては、申請の段階で同時申請を促すことで、事務効率化を図っており、人件費は減少傾向である。 本事業は認知症高齢者及びその家族が安心安全に地域生活を送るために必要不可欠である。また、認知症高齢者の増加に伴って必要性は高まっていくことが予想されることから、今後においても継続して事業を実施する。

(参考) 令和6年度カイゼンのための行動計画	